

- はじめに

本大会は日本トライアスロン連合(JTU)競技規則に加え、「2023 日本学生スプリントトライアスロン選手権兼トライアスロン・チームタイムトライアル選手権大会」(本紙)の設定に基づき、競技を行う。なお、特別に設定された項目以外はすべて日本トライアスロン連合(JTU)競技規則及びワールドトライアスロン(TRI)競技規則に基づいて競技を行う。

各選手が本紙と JTU 競技規則・TRI 競技規則をよく確認して競技に臨むこと。

- 大会運営について

1. 円滑な学生大会の運営を行うため、選手は大会プログラム(選手受付、トランジションエリアオープン、スタート地点への集合、その他の公式事項)の時間を遵守しなければならない。
2. 大会プログラムに出席できないまたは遅れる場合はあらかじめ JUTU のメール(jutu19info@gmail.com)まで連絡しなければならない。
3. 大会当日のプログラム時間等の変更は学連公式 SNS、大会本部前の掲示・アナウンスによって行う。
4. 定められた時間に遅れる行為に対しては厳格なペナルティを課すほか、失格の対象とする場合がある。
5. 悪天候等が原因で、安全に競技を実施することができないと判断された場合、スイムコースの安全が確保できない場合は、距離の短縮、もしくはデュアスロンへ変更になる。
6. 距離の変更、デュアスロンへの変更は原則として当日の朝決定及びアナウンスを行う。

- 競技規則・レースウェア以外の競技備品について

1. 競技コースにおける周回数のカウントは選手の自己判断とする。
2. ナンパリングは、両腕、両足、両手の甲の 6 箇所とする。
3. バイクハンドルにはバーテープを巻き、バーエンドはエンドキャップ等で塞がなければならない。
4. ナンバーカードはレースナンバーが周囲から確認できるよう、必ず前後 2 枚着用しなければならない。2 枚のうち 1 枚が競技中に突発的に外れた場合は、テクニカルオフィシャル(以下 TO とする)が確認できるように提示するか、競技中に付け直せば競技の続行を認める。
5. アンクルバンドは必ず着用し、競技終了後は返却する。
6. いかなる理由があっても、アンクルバンドが外れた状態でフィニッシュした選手は失格とする。
7. 本大会は、バイクコース上にホイールステーションを設ける(競技コース図参照)。競技者以外の者がストックホイールを受け取る行為を禁止する。受け渡しを行った場合、競技者が失格となる。
8. 競技中に機材が壊れた場合、壊れた機材について、大会側は一切責任を負わない。
9. チーム TT においては、チーム内 3 番目にゴールした選手のタイムを決勝時間とする。

- レースウェア

1. 個人選手権の部及びチーム TT 選手権の部はエリート大会参加規定を基に行うが、規定外でも罰則等は実施しない。
2. 個人オープンの部及びチーム TT オープンの部はエイジグループ大会参加規定を基にする。

- スイム

1. コースは 1 周 0.75km のコースを時計回りに 1 周する。
2. ウェットスーツの着用基準は JTU 競技規則第 7 3 条「エイジグループ」を適用する。ウェットスーツの着用可否は当日の天候にも配慮し、メディカル代表と審議委員の合議の上決定し、大会当日の各競技実施 1 時間前に公式掲示板において発表する。ウェットスーツは必ず持参すること。ただし、悪天候により着用を義務とする場合もあるため、全選手必ず持参すること。
3. スイムの制限時間は 30 分とする。
4. 今大会はスイムキャップの配布を行う。支給された公式スイムキャップを着用しなければならない。

5. ウェットスーツの下にゼッケンベルトを装着することは認めない。
 6. 入水チェックは指定された時間のみ可能となる。入水チェックを行わなかった者は**失格**とする。
 7. 各選手は入水チェック終了の時間までにスイムエリアに入らなければならない。入水チェックを済ませた選手はスイムエリアから出ることはできない。
 8. 今大会ではスイムスキップは認めない。
 9. フライングが認められた場合、当該選手には 10 秒のタイムペナルティを課す。
- トランジション
 1. トランジションエリアに進入する際は、TO にレースナンバーを明示する。
 2. 競技備品はトランジションエリア開放の時間帯のみ、これを搬入、搬出することができる。トランジションエリア開放時間外にトランジションエリアに進入する選手には原則として 10 秒のタイムペナルティを課す。
 3. 違反した場合は原則として TO の前でやり直す。TO の前でやり直すことができない場合はタイムペナルティを課す。
 4. ナンバーカードは必ず 2 枚、ゼッケンベルトに装着しなければならない。
 5. ナンバーカードがついたゼッケンベルトはバイクを取り出す前に装着しなければならない。
 6. トランジションエリア開放後、競技備品の回収には選手本人があたり、入口及び出口でナンバーカードをスタッフに提示すること。救護にかかっている等で競技備品の回収を選手本人が行えない場合は、当該選手と同じ大学・チームの者が代理で回収することができる。その際、当該選手のナンバーカードを持参すること。
 - バイク
 1. 1 周約 7km のコースを 3 周する。
 2. バイクは JTU 競技規則、競技用バイク基準に則ったものでなければならない。基準に則っていない場合、レースへの参加は認めない。
 3. ドラフティング及び DH バーについて。
 - スプリント選手権 男子:ドラフティング許可・DH バー**使用禁止**
 - スプリント選手権 女子:ドラフティング禁止・DH バー**使用可能**
(女子オープンと同時にスタートするため)
 - オープン:ドラフティング禁止・DH バー**使用可能**
 - チーム T.T.:チーム内でのみドラフティング許可・DH バー**使用禁止**
 4. ドラフティング違反については JTU 競技規則に則る。
 5. バイク用具及び乗車姿勢については、エイジグループドラフティング許可・禁止レースの規則に則る。
 6. 乗降車ラインについて。タイヤではなく選手の足を基準とし、乗車時はラインを足が一步以上越えてから乗車し、降車時はラインの手前で足を一步以上ついてから降車すること。違反した場合は原則として TO の前でやり直す。TO の前でやり直すことが現実的に不可能な場合はタイムペナルティを課す。
 7. キープレフトを厳守して競技を行うこと。キープレフトとは、競技コース左端を走行することである。
 8. 周回数のカウントは選手の自己管理とし、サイクルメーターの装着を強く推奨する。
 9. コーナー地点では先行する競技者を優先する。後続の競技者は先行する競技者の優先コースに入ってはならない。
 10. バイク競技中、バイクの故障が発生し、かつこれを修理することによって競技の続行を希望する場合、独力で行わなければならない。
 - ラン
 1. コースは 1 周 2.5km のコースを 2 周する。
 2. 選手は、胴体のどこか一部がフィニッシュラインを越えた瞬間にフィニッシュしたと判断される。
 3. フィニッシュ後に再度コースに入ることを禁止する。
 4. 周回数のカウントは選手の自己管理とし、ランウォッチの着用を強く推奨する。
 5. 意図的な同着を認めない。但し、チーム TT におけるチーム内の同着は認める。

- ペナルティ
 1. JIU 競技規則及びローカルルールに違反する行為に対してペナルティを与える。
 2. バイク競技までのペナルティはランコース上のペナルティボックスで消化しなくてはならない。
 3. 第2トランジション以降のペナルティはタイムチャージ式とする。
 4. タイムペナルティ
 - 1 選手受付への遅れ：10 秒
 - 2 ドラフティング違反：60 秒
 - 3 その他の違反：10 秒
 5. タイムペナルティを消化せずにレースを終了した選手は失格とする。
 6. TO による誘導は行わないため、各選手がペナルティボックスの掲示をよく確認すること。
(タイムチャージ式のペナルティは除く。)
 7. コースのショートカット、周回不足等で規定の競技距離をカバーしていない選手は失格とする。これに気づいた場合は元の位置に戻れば競技を再開することができるが、フィニッシュした後は再度コースに戻ることはできない。
- オフィシャルについて
 1. オフィシャルは JIU 競技規則及び本紙に沿って大会を運営する義務がある。
 2. 審議委員会は、栗原豊季、柴田葵、伴伸夫によって組織される。
- 応援について
 1. 本大会は競技者以外の者が選手に対し、順位や前の選手との時間差を伝えることを認める。ただし、拡声器を用いてはならない。
 2. 応援者またはコーチが特定の競技者と並走、追走することは個人援助とみなし、禁止とする。
 3. 競技者以外の者が競技者に対して補給物資や装備の受け渡しをした場合、個人援助とみなし、援助を受けた選手は直ちに失格とする。但し、本大会において TO 又はボランティアスタッフからの給水、木陰への移動に関するペナルティは課さない。
 4. マナーとモラルを守った応援を心がけること
- その他の注意事項
 1. バイクコースの試走は前日までとし、その際ヘルメットの着用を義務付ける。必ず交通ルールを遵守しなければならない。
 2. 必ず指定された駐車場を利用すること。指定外の駐車場を利用した場合は、当該選手もしくはチーム全体に厳重なペナルティを課す。
 3. 駐車場ではバイクの乗車を禁止とする。駐車場でのバイクの乗車が認められた場合、運営側による注意を行うが、それが複数回に及ぶ場合は失格・出場停止とする。
 4. 前日のバイクチェックは行わないものとする。各自で責任を持ってバイクを整備、ヘルメットチェックをすること。
 5. 一般客、ボランティアスタッフ、大会役員、審判員等への不適切な言動は行わないこと。大会会場へ移動する道中から不適切な言動がないよう注意すること。
 6. 目に余る危険行為、替え玉出場、ドーピング等の不正行為は失格、もしくはより重い処罰を課す。
 7. リタイアをする場合は必ず選手本人または代理人が近くの TO もしくは大会本部に直接アンクルバンドを提出しなければならない。
 8. エイドステーションから提供されるコップ等はゴミ箱に捨てなければならない。また、補給食等のゴミをコース上に故意に捨ててはならない。

9. 校旗やのぼりをフィニッシュゲートに取り付けることはできない。

お問い合わせ先
日本学生トライアスロン連合
jutu19info@gmail.com